

令和 5 年 6 月吉日

同門会会員各位

岡山大学医学部産科婦人科学教室同門会  
会長 増山 寿

拝啓

向夏の候、先生におれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同門会の運営に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和 7 年 5 月 22 日（木）～5 月 25 日（日）岡山市に於きまして、第 77 回日本産科婦人科学会学術講演会を担当させていただくこととなりました。メインテーマは「不易流行」です。いつまでも変わらない教室の伝統、産婦人科の本質を忘れることなく、時代に応じて新しく変化を重ねている技術や思考を取り入れ、新しい未来を築いていく姿勢を大切に、産科婦人科医学・医療の発展に寄与したいと考えております。会員約 5,000 人の現地参加が見込まれ、なおかつ Web 配信も組み合わせたハイブリッド開催を予定しており、活発な学術講演会になるものと確信しております。

教室員一同、鋭意準備を進めておりますが、昨今は企業からの協賛等が厳しい状況となっており、同門の先生方のご協力を賜りたくお願いを申し上げる次第です。本寄付金は、岡山大学産科婦人科学教室同門会学術振興基金として、第 77 回日本産科婦人科学会学術講演会において援助すべき費用を含め、学術集会に必要な経費を中心に、対外交流、教育活動、同門会事業などに充当させていただきます。

末筆になりましたが、先生の一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

敬具

令和6年6月吉日

同門会会員各位

## 第77回日本産科婦人科学会学術講演会主催に際しての教室援助のお願い

拝啓

向夏の候、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同門会の運営に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和7年5月22日（木）～5月25日（日）岡山市に於きまして、第77回日本産科婦人科学会学術講演会を増山寿教授が主催される運びとなりました。平松祐司名誉教授が主催されてから13年ぶりに岡山大学医学部産科婦人科学教室が担当することとなり、岡山市での開催は、関場香名誉教授より実に36年ぶりとなります。日本産科婦人科学会会員約5,000人の現地参加が見込まれ、活発な学術講演会になるものと確信しております。同門会といたしましても総力をあげて支援を行い、成功裡に導くことが願うところであります。

学術講演会開催の運営に教室を挙げて取り組みを始めましたが、学会本部からの補助は限られており、同門会の募金が最も重要な財源となってまいります。つきましては、令和5年度同門会役員会および総会において申しあげましたように、岡山大学産科婦人科学教室同門会学術振興基金として皆様からのご芳志を募り、学術講演会に必要な経費を中心に、対外交流、教育活動、同門会事業などにも充当させていただきたく存じます。日頃のあたたかいご支援に重ねてのご負担となり心苦しいのですが、趣旨にご賛同賜りまして、何卒ご支援下さいますよう、発起人一同お願い申し上げます。

末筆になりましたが、先生の一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

敬具

発起人：奥田博之、石井良夫、江尻孝平、金重恵美子、坂口幸吉、河原義文、山崎善久、福井秀樹、松本 貴、半田 充、正岡 博、玉田 隆、米澤 優、近藤裕司、谷村豊海、春名好子、伊藤義徳、長尾昌二、中村圭一郎、鎌田泰彦、小川千加子、衛藤英理子

募金要領：1)募 金 名 称： 岡山大学産科婦人科学教室同門会学術振興基金

2)募 金 期 間： 令和5年7月～令和7年3月に2回ご依頼申し上げます。

3)寄付金の用途： 教室の行う学会および研究会支援、対外交流、同門会事業の援助

4)払 込 方 法： ①一般寄付

同封の振込み用紙をご利用下さい。令和5年および令和6年に限りましては、従来の教室支援費を含め、同門の全先生方に毎年一口3万円（一口以上）でお願い申し上げます。

②奨学寄附金

高額のご寄付を下さる場合にご利用下さい。節税処置があります。

……………奨学寄附金の納付手続きは以下の通りです……………

- 1) 寄付申込書を教室 HP からダウンロードし、ご利用下さい。
- 2) 記入頂きました寄付申込書を教室医局長宛にお送り下さい。  
送付先：〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 臨床研究棟 6 階  
岡山大学医学部産科婦人科学教室 医局長 宛
- 3) 約一か月後に大学事務から振込依頼書を郵送致します。
- 4) 入金月の翌月か翌々月に大学事務から領収書を郵送致します。